

グループ名	丁	記録者	沢玉、有祐
研究テーマ	みんなが楽しむあいご会にするにはどうしたらよいか		
サブ テーマ	A	あいご会活動のプログラムをどう計画したらよいか	
	B	あいご会の楽しさをどう伝えたらよいか	
	C	あいご会役員としてどう関わったらよいか	1人1人の役割を明確に

記 録

A. 公衆施設と利用する。

基本例年通りだったが、コロナで復活できていない部分がある。

主体的な方々が多いと活動がしやすい。

親同士のつながりがあり、あいご会に協力しやすい環境。

行事ができて → 中身を変えて実施。

各学期一回ずつくらい、はわとび大会、ニュースポーツ大会など、小学生が中心に参加。

毎年、年間のお礼として、改善していく、やりたいうちはできる限り、子どもからアンケートをとる。

やりやすいお金がかからないもの。

B. 楽しむには、

・ いろんな団体、学校など、協力体制があるとできる幅が広がる。

楽しむには、

・ 中学生に企画運営、小学生が担当、そのリクルート作業は、

校区での活動です。

・ あいご会の活動に参加して、その楽しさを、他の場所でも伝える。

・ 小学生は楽しい。

※ グループ協議を行ったサブテーマに○をつけてください。